

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>グループホームとして「魚崎の地で、ともに楽しく自分らしく暮らしましょう。」という独自の理念を掲げている。</p>	<p>今後も地域の方やボランティアの方との交流を大切に、地域に親しまれる開放された施設作りを実践していく。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>運営理念、運営方針を玄関・スタッフルームに掲示している。内部研修にて、運営方針の把握・実践に向けて取り組んでいる。また、サービス十カ条を朝礼時に唱和し、確認を行っている。</p>	<p>新しい職員にも随時理念を伝え、全職員で実践していく。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>施設内に掲示、訪問時に説明をしている。家族会にて報告・説明している。</p>	<p>家族会にて理念の説明を行っていく。</p>
2.地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩や外出時など、近隣の方には挨拶を交わし、気軽に会話をしている。スーパーで買い物時、利用者の方のお支払いも店の方が協力して下さっている。</p>	<p>地域の子守り会に参加している。散歩時腕章を着用し、子供達が安心してお年寄りとお話しコミュニケーションをとれるよう、今後も取り組んでいく。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>小学校より音楽会の案内や幼稚園の運動会のお誘い、福祉センターでの行事参加、地域盆踊りなど地域交流がある。</p>	<p>今後も地域のお祭り、盆踊り、学校行事等にも参加していく。子守り会の会合にも参加していく。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>実習生の受け入れや小学生の訪問など積極的に行っている。</p>		<p>生きがいデイや老人会等で話す機会があれば話していきたい。実習生の受け入れは、今後も行っていきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>第三者評価の意義目的を会議で伝えている。外部評価の結果の改善に向けて、職員で取り組んでいる。</p>		<p>第三者評価結果をもとに、今後も職員で話し合い改善に努めていきたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議にて活動の報告とともに意見・質問の交換を行っている。一つひとつ積み上げがなされるようにしている。地域密着を目指し、グループホームで取り組んでいる内容を報告し、意見をいただく。</p>		<p>今後も運営推進会議にて活動の報告とともに意見・質問の交換を行っていき、一つひとつ積み上げがなされるようにしていく。地域密着を目指し、グループホームで取り組んでいる内容を報告し、意見をいただきたい。</p>
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>神戸市市営住宅型グループホームのため、絶えず神戸市・住宅局とも連携をとっている。</p>		<p>今後も絶えず神戸市・住宅局とも連携をとっていく。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度について職員に説明、アドバイスが徹底されていない。</p>		<p>成年後見制度について勉強会が必要である。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員全体会議で、虐待や拘束の研修を行っている。グループホーム職員会議、勉強会にて、虐待・拘束（特に言葉の拘束）について話し合い、防止に努めている。</p>		<p>常に意識して取り組んでいけるよう、職員会議等を活用しスタッフの意識付けを行っていく。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>時間をかけて丁寧に説明している。家族様が数名おられる時はそれぞれに理解・同意を得るように説明している。</p>	<p>家族様に理解・納得していただけるよう十分な時間を作り、分かりやすく説明・明示し同意を得ていきたい。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者様の言動や態度から不満を察したら、日々のミーティングの中で話し合い、解決するよう努めている。また、苦情シートに記入し、速やかに管理者へ報告し年2回の苦情委員会で提示し、民生委員などの第三者からの意見を求め、解決に努めている。</p>	<p>今後も意見や不満を聞きいれる姿勢を持ち続け、皆で話し合い、解決するよう努めていく。また、苦情委員会にて提示し解決に向けて取り組んでいく。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月1回手紙をおくり、日々の様子、行事を報告している。面会時に細かい状態を伝えるようにし、「言ったつもり」「聞きそびれ」を回避している。必要時にはその都度電話連絡も行っている。毎月請求時に通帳や領収書のコピーを付けている。</p>	<p>今後も月1回手紙をおくり、日々の様子、行事を報告していく。また、面会時に近況報告を行い、状態を把握し安心していただけるよう努めていく。毎月請求時に通帳や領収書のコピーを付けていく。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情シートに記入し、意見や不満、苦情について報告し、管理者・職員で対応について解決を図るよう努めている。苦情委員会の設置・運営。月一回の手紙や家族会にて、気軽に意見が言える様促している。</p>	<p>苦情シートを使用し、意見や不満、苦情について記入報告し、管理者・職員で対応について解決を図るよう努めていきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>朝・夕の申し送りで個人の意見を言う機会を設け管理者も定期的に参加している。必要時は随時個別に話を聞く機会もつくり、年1回職員全員対象に個別面談も実施。</p>	<p>朝・夕の申し送りで個人の意見を言う機会を設けていく。管理者も定期的に参加し、個別面談も行っていきたい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>入居者様の状態に合わせてその都度話し合いを行い、遅出や早出の時間帯を変えて対応している。2フロアの状態を把握できるよう、職員のフロア固定はせず、両フロア偏りなく勤務できるようにシフト組みをしている。日課表にてフロアの人数の割り振り調整を行っている。</p>	<p>入居者様の状態に応じて、今後も勤務時間、体制の変更など柔軟な対応をしていきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者様の馴染みの顔である職員が多数異動することがないように配慮している。新職員が入る場合は、利用者様一人ひとりに自己紹介をし、他のスタッフ全員で早く馴染める環境作りに努めている。		利用者様の馴染みの顔である職員が多数異動することがないように配慮していく。新職員が入る場合は、入居者様一人ひとりに自己紹介し、他のスタッフ全員で早く馴染める環境作りに努めている。
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会は、職員が順に受けている。また、研修報告は、全体会議にて報告し、研修を共有している。月2回内部研修を行い、その時々に必要な事をとりあげ、研修を行っている。		研修会を順に受け、個々の専門性を高め、研修報告にて全員での共有に取り組んでいく。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会を行い、他事業所との意見交換の場を設け、質の向上を目指している。		グループホーム連絡会を行い、他事業所との意見交換の場を設け、質の向上を目指していきたい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩は入居者様と離れてとり、気分転換を図れる時間・場所がある。管理者は話やすく、職員も話しかけやすい環境である。個別面談にて話を聞く場も持っている。		休憩にて利用者様と離れ気分転換を図れる時間・場所を持つ。今後も職員同士や管理者とも話しかけやすい職場環境にしていきたい。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	資格取得に向けた勉強会を行い、向上心が持てるようにしている。管理者は、頻繁に現場に来て、様子を見ている。		資格取得に向けた勉強会を作り、向上心が持てるようにしていく。管理者は、頻繁に現場に来て、今後も様子を見ていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>面接時、本人様の状態を把握するよう努め、話しやすい雰囲気を作るようにしている。入居前にホームに何度か遊びに来ていただいている。</p>	<p>面接時、本人様の状態を把握するよう努め、話しやすい雰囲気を作るようにしていきたい。入居前にホームに遊びに来ていただくようにする。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>家族様が何に困っているのか、何を求めているのかを聞く姿勢を持っている。信頼を持っていただき、次の相談につなげていっている。面会の際必ず入居者様の近況報告をし、話をする機会を持つよう心がけている。</p>	<p>家族様が気軽に相談できるよう、普段よりコミュニケーションをとり、信頼を持っていただけるよう取り組んでいく。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受け、助言を行い、必要であれば他のサービス機関と連携をとるようにしている。</p>	<p>相談を受け、助言を行い、今後も必要であれば他のサービス機関と連携をとっていく。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事業所の様子を見に来ていただいたり、習い事など行事の様子を見ていただいている。昔から使っておられる馴染みの家具や置物を持って来ていただき、安心して過ごせる空間を作っている。</p>	<p>事業所の様子を見に来ていただいたり、習い事など行事の様子を見ていただくように努めたい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者様であるという以前に人生の先輩という思いが常にあり、料理・掃除・季節ごとのしきたりや文化など、教えていただくことも多い。</p>	<p>入居者様が支援してもらっていると感ずるのではなく、共に生活しているという思いを持っていただけるよう、支援していきたい。また、個々の趣味をいかし、今後も料理・裁縫・歌など教えていただけるよう取り組んでいきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	家族の思いや考えを理解し、暮らしの様子を伝えていく中で、家族様と職員で共に支えていく思いができています。毎月手紙にて行事予定を知らせており、可能な際は面会時に一緒に参加していただいている。全体行事時には行事案内にてお誘いしている。		家族の思いや考えを理解し、暮らしの様子を伝えていく中で、家族様と職員で共に支えていきたい。今後も行事等への参加もしていただきたい。
29 利用者と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者様・家族様の状態を見ながら、家族様に行事の連絡、誕生日会の招待や家族会の案内をしている。また衣替えに来ていただき、利用者様との良い関係が保てるように心がけている。		利用者様・家族様の状態を見ながら、家族様に行事の連絡、誕生日会の招待や家族会の案内をしていきたい。また衣替えに来ていただき、利用者様との良い関係が保てるように心がけていきたい。
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前によく散歩された場所に定期的にお連れしたり、馴染みの友人に会いに来ていただいている。利用者様が落ち着き、安心と思えるようにしている。		入居前によく散歩された場所に定期的にお連れしたり、馴染みの友人に会いに来ていただけるよう努めたい。利用者様が落ち着き、安心と思えるようにしていきたい。
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	昼食時は、職員も一緒に食事をし、皆でゆったりした時間が持てるよう心がけている。入居者様同士のトラブルの際は、散歩にお誘いするなどし、関係がこじれないよう仲介し環境づくりを行っている。また、いつも職員が間に入るのではなく、利用者様同士の関わり合いも大切にしている。		入居者様同士の円滑な関係作りができるよう、今後も一緒に作業したり散歩を行う機会を多く作っていきたい。合わない人同士が我慢したり、嫌な思いをしないよう支援していきたい。
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	家族様に様子を伺ったり、継続的な関わりを持っている。		家族様に様子を伺ったり、継続的な関わりを持っていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>生活の関わりの中で言葉・態度から思いを汲み取るよう心がけており、それを職員間で共有できるよう記録したり、申し送り時に話をする場を設けている。また、家族様からの情報を得ようとしている。本人様の意向を多く取り入れたケアプラン作りに努めている。</p>	<p>日常にて言葉・態度から思いを汲み取るよう心がけ関わりを持ち、それを職員間で共有できるよう記録したり、申し送り時に話し合いをおこなう。また、家族様からの情報を得ていく。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居者様のお話を伺ったり、家族様からバックグラウンドについてお尋ねしている。</p>	<p>プライバシーに関することで気を付けなければならないことだが、入居者様からも折に触れ、どんな生活をしてこられたのか聞いていきたい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>利用者様個人の生活リズムの把握、できることを見つけて全体像を把握している。シフト制であり、出勤時以外の情報は、日誌・連絡ノート・ケース記録にて把握に努めている。(確認印を主任が随時確認。)</p>	<p>利用者様個人の生活リズムの把握、できることを見つけて全体像を把握している。出勤時以外の情報は、日誌・連絡ノート・ケース記録にて把握に努めていく。</p>
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日々の暮らしの中での関わりで意見を聞き、ケース会議で課題を取り上げ、職員全体で意見交換を行っている。面会の際随時家族様と話をする機会をつくり、家族の意見や思いを聞くよう努めている。</p>	<p>利用者様・家族様の思いを取り入れたケアプラン作成を心がけたい。</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回見直しを行い、半年に一回家族様にケアプランの説明を行っている。状態変化のあった際、また要望のあった時は見直しを行っている。</p>	<p>定期的に見直し、作成を行い、家族様にケアプランの説明をしていく。状態に変化のあった時、また要望のあった時は見直しを行っていききたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録、一週間チェック表(バイタル、食事量、薬、排泄、病院受診)を記録している。ケース記録では、様子、言葉など記録し、押印している。		ケース記録、一週間チェック表(バイタル、食事量、薬、排泄、病院受診)を記録していく。ケース記録では、様子、言葉など記録し、押印していく。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	市営住宅型なので、制限はあるが、利用者様の日々の変化に対応した支援を行っている。		認知症介護の経験を活かし、ショートステイ・デイサービスができるように、今後、市と話し合いをすすめたい。
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	毎月、ボランティアによる料理・華道・書道・折紙教室があり、小学生との交流会等も行っている。また地域の子供達もよく来所してくれている。運営推進会議には、民生委員に出席いただき協力を得、意見交換する機会を設けている。小学校・幼稚園の行事にも参加している。		利用者様のできることの発見と生活の充実のため、様々なボランティアの方に呼びかけを行う。
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じてケアマネジャーと話し合いができる体制になっている。		必要に応じてケアマネジャーと話し合いができる体制になっているため、今後も継続していきたい。
42	地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議において地域包括支援センター「東灘ほくらあんしんすこやかセンター」の参加があり、情報交換を行っている。		運営推進会議において地域包括支援センター「東灘ほくらあんしんすこやかセンター」の参加があり、今後も情報交換を行っていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様と家族様の希望するかかりつけ医である。24時間対応して下さる主治医があり、常に連携を図り、指示や助言をもらっている。家族様同行の受診の場合、状況を密に連絡している。職員が代行の場合、利用契約があり、同意を得ている。		利用者様と家族様の希望するかかりつけ医である。家族様同行の受診の場合、状況を密に連絡していく。職員が代行の場合、利用契約があり、同意を得ている。今後も継続していきたい。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	月2回、地域老人医療に理解ある主治医の往診がある。認知症に理解ある協力病院があり、受け入れ体制が整っている。		月2回、地域老人医療に理解ある主治医の往診がある。認知症に理解ある協力病院があり、受け入れ体制を整えていきたい。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	他部署の看護師に連絡・相談し、いつでもアドバイスを受けられる。		他部署の看護師に連絡・相談し、いつでもアドバイスを受けられる体制を整えていきたい。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	協力病院がある。入院時には、お見舞いや病院・医師等と連絡を取り、家族様とも情報交換を行っている。速やかな退院となるよう支援している。		協力病院があり、入院時には、お見舞いや病院・医師等と連絡を取り、家族様とも情報交換を行っている。速やかな退院となるよう支援していきたい。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けて、家族様と話し、支援につなげている。		重度化や終末期に向けて、家族様と話し、支援につなげていきたい。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	主治医との連携は常に行っている。さらに、終末期に過ごしていただく対応をチームとして取り組んでいる。		主治医との連携は常に行ってほしい。さらに、終末期に過ごしていただく対応をチームとして取り組んでほしい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退居され、他施設に移られる時は、ケアプランや状況等を連絡し、説明している。少しでも生活しやすい環境ができるよう努めている。		退居され、他施設に移られる時は、ケアプランや状況等を連絡し、説明していく。少しでも生活しやすい環境ができるよう努めていきたい。
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1.その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	周囲に配慮し、さり気ない誘導や言葉かけを行っている。個人情報について他者に漏れることのないようプライバシーを守っている。申し送り・職員会議・内部研修の場にて対応の徹底に努めている。		個々の尊厳・プライバシーについて、申し送り時や職員会議にて話し合い、日々の関わりを職員間に徹底していく。今後も、どのような状態でも否定せずに、思いを受け止めて一人ひとりに合った適切な対応を行っていきたい。
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	一人ひとりのペースに合わせ、せかすことなく、その時々状態に合ったケアを行っている。必ず本人様に思いを聞き、寄り添い、一緒に取り組んでいる。本人様のお好みメニューの日を決めて、その日は食事のメニューを決めていただいている。		何事も利用者様一人ひとりのペースに合わせ、せかすことなく、その時々状態に合ったケアを行っていく。必ず本人様に思いを聞き、寄り添い、一緒に取り組んでいく。本人様のお好みメニューの日を決めて、その日は食事のメニューを決めていただくようにする。
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、食事がゆっくりな方・ゆっくり入浴したい方、毎日散歩に出かけたい方、毎日リハビリをしたい方、居室で休みたい方など、随時希望に合わせて、個別的な支援を行っている。		一人ひとりのペースを大切に、その人らしい暮らしの支援を今後も続けたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	定期的に理美容院へ行っている。希望に合わせて毛染めのため美容院へ出かけている。行き慣れた馴染みの店なので喜んで下さっている。また、本人様の希望に添ったその方らしい服装の支援を行っている。		今後も個々の希望に添って定期的に理美容院へ行く。また、本人様の希望に添ったその方らしい服装の支援を今後も行っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材やベランダでできた野菜を使用している。台所だけでなくテーブル上でできるもやしの根切りや野菜の皮むき、豆のすじ取りなどを手伝っていただいている。一緒に食事をし、できる方はご自分で使った食器を洗っていただいている。お好きなメニュー、食べたいメニューをお聞きし、献立作りをしている。		食事作りが難しい方の対応として座っていただけることや、簡単なことを常に考え支援していく。今後も利用者様が選べるメニュー作りをしていきたい。食事を1日の大切な活動と位置づけていく。
55 利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	買物日にお好きなものを購入していただいている。買物日以外にも、希望があれば、ご一緒に購入できる体制を作っている。牛乳やヤクルト、お酒・タバコなど、本人・家族希望にて量と時間を決め提供している。		買物日にお好きなものを購入することを続けたい。毎日の嗜好品も健康を維持しつつ、楽しんでいただけるよう支援して行きたい。
56 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表をつけ、個々の排泄パターンに合わせてトイレ排泄が行えるよう、トイレ誘導・排泄介助を実施している。状態観察し排泄物品の変更等を随時行っている。パット内排尿時にはホットタオル使用にて清潔保持に努めている。		チェック表使用にて排泄パターンの把握に努め、トイレでの排泄が行えるよう支援していく。
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	行事や往診日以外の毎日を入浴日とし、基本的に2日に一回入浴していただいているが、個々の希望や清潔保持などに合わせ、回数を増やしている。希望の足浴も行っている。		ゆっくりと入浴していただけるよう支援をしていきたい。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の活動を促している。体調や様子に気を配っている。眠れない方には、職員とともに過ごし、安心していただく。温かい飲み物などを飲んでいただいている。どうしても眠れない方には、添い寝などもしている。		日中の活動を促し、体調や様子に気を配っていききたい。眠れない方には、職員とともに過ごし、安心していただくよう努める。どうしても眠れない方には、添い寝などもしていきたい。
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活動作（洗濯・掃除・料理等）は出来る事はしていただき、その都度感謝を伝えている。出来ないことはサポートしながら一緒にしていただいている。また、花の水やり、裁縫・編み物、らっきょう漬、梅干漬、干し柿作りなど昔行ってきたことを活かし、楽しみを持ってもらえるよう努めている。		食事作りや花に水やり、掃除や編み物、らっきょう漬、梅干漬、干し柿作りなど昔を思い出し、楽しみごとにしていただけるよう努めていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは事務所で管理しているが、ご自分で扱える方は、手元にお持ちである。買い物時や喫茶店へ行った際は、レジにて手渡しやおつりの受け取りをしていただいている。		お小遣いは事務所で管理しているが、ご自分で扱える方は、手元にお持ちである。買い物時や喫茶店へ行った際は、レジにて手渡しやおつりの受け取りをしていただくよう努めていきたい。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は、散歩に出かけ、お誕生日などの日は外出・外食などを行っている。車椅子の方も外の空気や景色に触れていただくことを日常的に行っている。		毎日散歩やベランダでの日向ぼっこを行い気分転換に努める。車椅子の方も外の空気や景色に触れていただくことを日常的に行っていく。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族様の了解を得て、花見や梅見など、利用者様の行きたい場所をお聞きし、できるだけ実現に向けて取り組んでいる。季節ごとの外出を多く作っている。家族様も気軽に参加できる雰囲気作りをしている。		家族様の了解を得て、花見や梅見など、利用者様の行きたい場所をお聞きし、できるだけ実現に向けて取り組んでいく。季節ごとの外出を多く作り、家族様にも気軽に参加できる雰囲気作りをしていきたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個々の状態・希望に添って居室に個人電話を設置しており、使用していただいている。居室にない方は事務所の電話を使用し、話ができるようにしている。暑中見舞いなどの便りを作り、身近な方に送っている。		居室に電話がある方は使っていただき、それ以外の方は事務所の電話を使用し、話ができるようにしている。暑中見舞いなどの便りを作り、身近な方に送ってきたい。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	生活の様子を見ていただいたり、気兼ねなく会っていただけるように居室でゆっくりお話していただいている。門限はあるが仕事帰りなどにも立ち寄っていただけるようにしている。		生活の様子を見ていただいたり、気兼ねなく会って、居室でゆっくりお話していただけるよう心がけていきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会が実行されている。自覚のない言葉などの拘束がないか、申し送り等で話し合っている。さらに、申し送り時、職員全員で共有する機会を持っている。言葉の拘束についての勉強会等を実施している。		身体拘束委員会を実施していく。自覚のない言葉などの拘束がないか、申し送り等で話し合い、職員全員で共有する機会を持つていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外出したようなサインが出たら、さり気なく声をかけ、一緒に出るようにしている。玄関施錠は、安全面の確保のために行っている。		外出したようなサインが出たら、さり気なく声をかけ、一緒に出るようにしていきたい。
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	個々の所在確認を常に心がけている。居室にて過ごしている場合、洗濯物をお持ちしたり、お茶の声かけ等プライバシーに注意しつつ自然に訪室し安全確認を行うようにしている。夜間は、巡回を行い、違うフロアにいるときは、センサーマットを使い、安全に配慮している。		全員の所在把握をスタッフ全員が心がけて行っていく。夜間は、巡回を行い、違うフロアにいるときは、センサーマットを使い、安全に配慮していきたい。
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	皆が集まる場所の危険物の管理は安全面を優先し施錠できる場所で保管している。個人物品は管理が可能な方には居室にて保管していただき、場所の把握を行っている。(刃物・洗剤・針等)		皆が集まる場所での危険物の管理は安全確保の徹底して行う。個人物品は安全を考慮した上で入居者様の使える力に応じた支援をしていきたい。
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急マニュアルを作り、全職員が把握している。誤嚥、意識不明など起こりうる確率の高い方に対する対応を取り決めている。利用者様一人ひとりの緊急ファイルを作成している。		緊急マニュアルを作り、全職員が把握していく。誤嚥、意識不明など起こりうる確率の高い方に対する対応を取り決め、研修で実践練習をさらに行っていく。
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応マニュアルを作成している。連絡先などは、すぐ目につくところに置いている。内部研修にて、勉強会を行っている。看護師の協力を得て、研修を行っている。		看護師による緊急時対応の内部研修を定期的実施していきたい。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、防災・非難訓練を行っている。毎日、防火管理点検表のチェックをしている。シルバーハウジングの方とも協力して防災訓練を行っている。		年2回、防災・非難訓練を行っていく。毎日、防火管理点検表のチェックをしていく。今後もシルバーハウジングの方と協力して防災訓練を行っていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族様に転倒、誤嚥などリスクについて説明させていただいている。家族様によっては転倒を心配するあまり、車椅子使用など言われる方に対して、取り組みを説明させていただいている。		リスクについて説明するとともに、グループホームでの取り組みも理解していただく。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	いち早く状態の変化に気づけるよう、日常の状態観察に努めている。急変時速やかに管理者に情報が行くシステムになっている。かかりつけ医に報告し、指示を仰いでいる。		速やかに状態の変化に気づけるよう、日常の様子観察に努める。管理者・職員ともに情報を共有していく。かかりつけ医に報告し、指示を仰いでいく。
74	服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常に医師との連携を図り、正しく服薬できるように支援して、間違いのないよう毎回チェックを行っている。薬の説明書に必ず目を通し、内容を把握している。服薬時には、本人様に手渡し、きちんと飲まれるまで確認を行う。		常に医師との連携を図り、正しく服薬できるように支援して、間違いのないよう毎回チェックを行っていく。薬の説明書に必ず目を通し、内容を把握していく。服薬時には、本人様に手渡し、きちんと飲まれるまで確認を行っていく。
75	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日、適度の運動を促したり、水分を多く摂っていただいたりして、なるべく自然排便を心がけている。お腹のはりが見られる方には、陰部洗浄や腹部マッサージをしている。		毎日、適度の運動を促したり、水分を多く摂っていただいたりして、なるべく自然排便を心がけていく。お腹のはりが見られる方には、腹部マッサージをしていく。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	夕食後に歯磨き、イソジンでのうがいをを行い、清潔保持に努めている。必要な方には歯間ブラシの使用、うまくできない方に対しては、職員が介助している。義歯の方は、定期的にポリドント洗浄を行っている。毎食後の手入れを目標とする。		夕食後に歯磨き、イソジンでのうがいをを行い、清潔保持に努めていく。必要な方の歯間ブラシの使用、うまくできない方に対しては、職員が介助していく。義歯の方は、定期的にポリドント洗浄を行い、毎食後の手入れを目標としたい。
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、食事摂取量のチェックを行っている。毎食トータルで栄養バランスを考えながら、献立作りをしている。なるべく多く水分を摂っていただき、拒否される方には、好きな飲み物をすすめたり、時間を見ながら少しずつ飲んでいただけよう促している。		毎日、食事摂取量のチェックを行っていく。毎食トータルで栄養バランスを考えながら、献立作りをしていく。なるべく多く水分を摂っていただき、拒否される方には、好きな飲み物をすすめたり、時間を見ながら少しずつ飲んでいただけよう促していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策マニュアルを作成している。インフルエンザの予防注射をしている。ウイルスの慢洩時のマニュアルがあり、実行している。ノロ対策セットを用意しており、すぐに使用できるようにしている。外出後・食事前に手洗い、うがい、手指消毒を行うよう支援している。		ノロ対策セットを用意し、すぐに使用できるようにする。外出後・食事前に手洗い、うがい、手指消毒を行うよう支援していく。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	常に冷蔵庫の整理を行い、定期的な掃除をしている。布巾は、定期的に交換、その都度煮沸消毒をしている。食材によって、まな板を区別し、使用後は漂白剤で消毒をしている。食品・調理器具は高温で、食器洗い器を使用している。毎日の食材の仕入れを行っている。		常に冷蔵庫の整理を行い、定期的な掃除をしていく。布巾は、定期的に交換、その都度煮沸消毒をし、食材によって、まな板を区別し、使用後は漂白剤で消毒をしていく。食品・調理器具は高温で、食器洗い器を使用していく。毎日の食材の仕入れも行っていく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家庭的な雰囲気を心がけている。観葉植物やお花を飾っている。家で使用しているようなスリッパを使用している。		家庭的な雰囲気を心がけ、観葉植物やお花を飾っていく。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食事作りの音やにおいを感じていただいている。好きな音楽、テレビなど適切にかけている。自然に触れる機会を多く作り、散歩のできない日は、テラスでの日光浴を楽しまれている。手書きの表札を付け、その周りに季節を感じていただける手作りのものを飾っている。季節に合った貼り絵、歌の歌詞を書いたポスターを飾っている。		好きな音楽、テレビなど適切にかけていく。自然に触れる機会を多く作るよう心がける。また、季節に合った貼り絵、歌の歌詞を書いたポスターなど、利用者様と一緒に考えていく。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の空所にソファやベンチを設置している。そこで、一人で過ごしたり、仲の良い同士がくつろげるスペースを作っている。		一人でおられる場所作りを今後も大切にしてい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔から使われていた家具や置物などを持って来て使用していただき、安心して居心地よく過ごせる空間を作っている。		昔から使われていた家具や置物などを持って来て使用していただき、安心して居心地よく過ごせる空間を作りたい。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝の掃除の際、必ず全ての窓を開け、換気を行っている。全居室、共用部に数ヶ所、室温計を設置し、常に室温管理を行っている。空気の入替えを適切に行っている。排泄物の悪臭防止の為、小袋使用にて1回1回密封し悪臭予防としている。		朝一番の換気を継続して行う。室温調節、悪臭防止に努め常に過ごしやすい環境作りを行っている。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関先にソファを置き、座って靴を履き、脱いでいただいている。キッチンも、利用者様に合わせて低くなっており、使いやすくなっている。ホーム要所に手すりも備え付けられている。		個々の状態に合わせて共に整理整頓を行い、落ち着いて過ごせる空間作りをしていく。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの状況に合わせて、環境整備を行っている。居室の入口の表札など特に分かりにくい方に対しては、目印をつけるなどして工夫している。混乱をまねかないよう、さりげないケアに努めている。		今後も一人ひとりの状況に合わせて、環境整備に取り組んでいきたい。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	テラスに野菜や花を植えている。テラスが広い為日光浴やおやつ時間も持てるようにしている。テラスでの洗濯、季節の花を育てたり、野菜の収穫を行っている。正面玄関や隣のケアハウスへお花を摘みに行っている。		広いテラスを活用し、野菜や花を植え、日光浴やおやつ、バーベキュー等を行い、日々の楽しみを多く提供していきたい。

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者の方が地域の中で人間らしく、安心して生活できるよう、共に生活する家庭を目指した生活空間作りをしています。近隣の病院や美容院・スーパー・公園・小学校や幼稚園の行事に出かけ、地域との交流をはかり、またボランティアの協力を得て定期的に華道・習字・折り紙等の習い事も行い、活動的な生活を支援しています。年中行事では、季節にあわせた行事、遠足を多く行い、夏祭り、敬老会、クリスマス会などの行事も入居者の方々と一緒に準備から楽しみ、入居者様を主体とし取り組んでいます。誕生日は基本的に当日にお祝いしその人にあった誕生日会を考え開催しています。また個々の生活暦、状態に合わせ個々のニーズに添って個別ケアを心がけ、家族との連携を大切にしています。また、自立支援を目指しできることは自分でしていただき、生活動作、毎日の散歩により残存能力の維持・向上につとめています。グループホームで安心して楽しく自分らしくお過ごしいただけるよう、入居者様同士・また、入居者様と職員が共に寄り添いながら、笑顔の絶えない日々を心がけています。